



社会医療法人愛仁会

ベトナム人看護学生をインターンシップで 人材育成し看護補助者に育てる

社会医療法人愛仁会(大阪府、高岡秀幸理事長)は、2020年から国際協力事業としてベトナム人看護学生を対象にしたインターンシップ事業を行っている。この事業では、愛仁会の病院で1年未満の就業体験を行い、一時帰国後再入国希望者は特定技能制度を活用して再入国する。ドニア大学のインターンシップ事業では、3年間で79人が参加。そのうち65%に当たる51人が再入国を果たし、看護補助者として就労している。

インターンシップ事業は 2020年に開始

社会医療法人愛仁会は、大阪から兵庫にかけて医療や介護の提供

に加えリハビリ施設などを展開しつつ、国際協力事業としてタイとベトナムの2カ国で計6つの事業を実施している。愛仁会では、国際事業へのチャレンジを「新たな価値を生み出し」「自らの変革をもたらす」と位置付けており、2016年にタイのサミティペー ト病院で医療支援を開始、ベトナムでは18年から看護・介護教育支援を行っている。

ベトナムでの事業の一つが、インターンシップ事業だ。2020年に始まった同事業では、看護補

助者の人材育成・確保を目的として、ダナンのドンア大学などの看護学生を対象に1年未満の期間、愛仁会の病院に迎え入れ、インターンシップを実施している。

同事業を担当する国際協力事業部門の山村智和氏は「ベトナムの現状として、看護学校を卒業しても現地の病院に看護師として就職する割合は少ないです。一方で、海外での就労希望は一定数(4〜6割)あるという研究報告もありますが、さまざまな理由で実現できないことが多いようです。そこで、現地の大学や短期大学の看護学生を対象に、特定活動ビザ(告示9号)によるインターンシップを通じた人材育成・還流に取り組んでいます」と語る。

具体的には、日本語を専攻して